

第45期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日



日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

証券コード：4323

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会：毎年3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) (住所変更、単元未満株式の買取等については株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	http://www.jast.jp/ (日本語) http://www.jast.jp/en (英語)
証券コード	4323

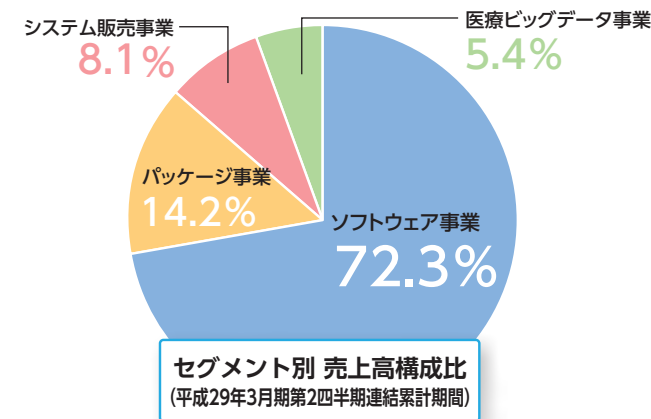
AST 日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

〒108-8288 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル27階
〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階

事業紹介

広範な情報サービスと自社ブランドの確立

長期安定的成長を目指す当社グループは、ソフトウェア事業、パッケージ事業、システム販売事業及び医療ビッグデータ事業の4つの事業領域で、グローバルなサービスを提供しています。



ソフトウェア事業

事務処理系システム、通信・制御・技術系システム、スポーツ・文化イベント関連システムといった3つの分野で、顧客の個別ニーズに合わせたオーダーメイド方式によるソフトウェアの受託開発等を展開しています。

パッケージ事業

教育機関向けパッケージの開発・販売を行っています。学校業務関連市場で圧倒的なブランド力を誇る戦略的・大学経営システム「GAKUEN」を中核に、最新の文教ITサービスを提供しています。

システム販売事業

ハードウェア・ソフトウェア・インフラの統合販売、保守、ネットワーク構築を提供しています。

医療ビッグデータ事業

電子レセプト自動点検システム「JMICS」による医療情報データの点検、分析及び関連サービスの運用を通じて、医療費の適正化に取り組んでいます。



第45期第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

環境変動が激しいIT業界にあって、当社グループでは中長期的な経営の基本方針「JASTビジョン2020」を策定し、「超一流への挑戦」をキーワードに掲げ、受託開発型ビジネスの受注量増加及び収益性向上と、自社ブランド製品を核とする当社主導型ビジネスの一層の拡大を伴った継続的成長を目指しています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、ソフトウェア事業につきましては、製造業及び医療機関向け案件等が前年より減収傾向で推移したものの、サービス・流通業、金融・保険・証券業、官公庁及び通信業向け案件がそれぞれ増収となり、売上高45億1百万円(前年同期比16.7%増)、営

業利益1億22百万円(前年同期は営業損失20百万円)の増収増益となりました。

次に、パッケージ事業につきましては、仕入販売、運用サービス及び保守サービスが前年を上回った一方で、EUC(End User Computing:パッケージの周辺システムの受託開発)、導入支援及び大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売といった収益性の高い案件項目が減収となり、売上高8億87百万円(前年同期比14.4%減)、営業損失45百万円(前年同期は営業利益1億22百万円)の減収減益となりました。

次に、システム販売事業につきましては、大学向け機器販売は減収となりましたが、公共系SI(システム・インテグレーション)案件の増収により、売上高5億4百万円(前年同期比16.5%増)、営業損失8百万円(前年同期は営業損失23百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業につきましては、レセプト自動点検サービスに加え、点検業者向けクラウドサービス、分析・医療費通知サービス及びデータヘルス計画支援サービス等のサービス拡充により、売上高は堅調に推移しましたが、将来

の成長を見越した組織増強に伴うコスト増の先行により、売上高3億33百万円(前年同期比43.2%増)、営業損失43百万円(前年同期は営業損失42百万円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高62億26百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益24百万円(同29.8%減)、経常利益37百万円(同29.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円(同80.0%減)と、前年同期と比較して増収減益となったものの、当初計画を上回る結果となりました。

また、第45期通期の連結業績予想は、売上高131億20百万円(前期比11.0%増)、営業利益6億円(同49.4%増)、経常利益6億10百万円(同38.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億55百万円(同21.6%増)の増収増益を見込んでいます。

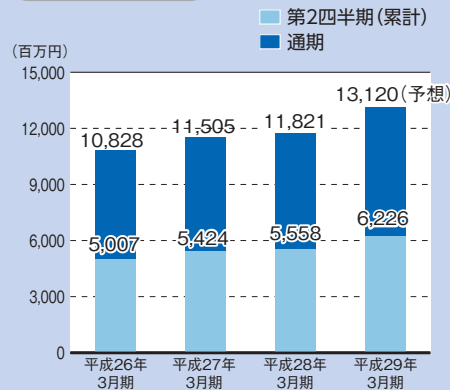
株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

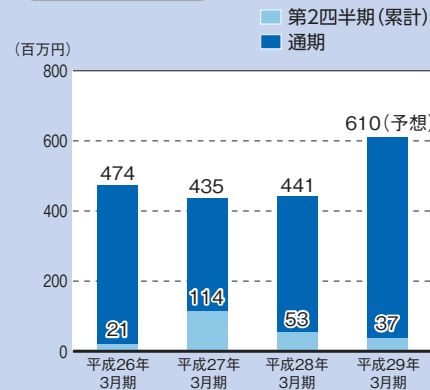
平林武昭

連結財務ハイライト

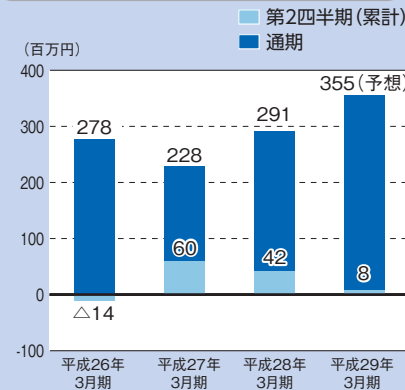
売上高



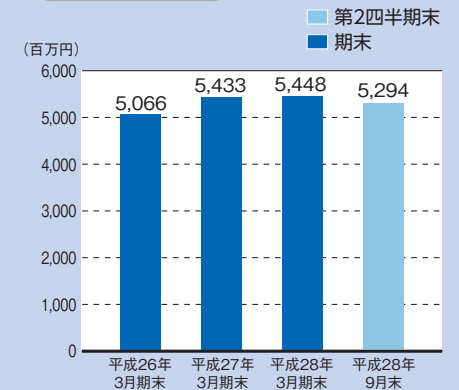
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



純資産



GAKUEN全国ユーザ研修会

より良い大学経営システムの実現を目指して――

長期的に安定した成長を実現するため、中長期経営計画「JASTビジョン2020」に取り組んでいる当社は、自社パッケージを中心としたブランド事業の構成比率向上に努めております。その取り組みの中核の一つとして、大学業務パッケージ「GAKUEN」シリーズの普及に力を入れています。すでに国内導入実績356校（平成28年4月末）を誇り、トップブランドの地位を確立している同シリーズですが、さらなる拡大を目指して、また、ユーザの皆様のご愛顧に感謝の気持ちを込めて、毎年「GAKUEN全国ユーザ研修会」を開催しています。全国のユーザの皆様にお集まりいただき、主要なテーマの基調講演、導入校の事例紹介や分科会をご用意するとともに、当社のスタッフがユーザの皆様のご意見・ご要望を直接承る機会を設けさせていただいています。

平成6年の「GAKUEN」シリーズのリリース以来、22回目を数えた今回の全国ユーザ研修会は、平成28年9月29・30日に、前年4月にオープンしたばかりの玉川大学様大学教育棟2014をお借りして開催しました。



1日目の全体会の様子



研修会ご参加歓迎イベント

大学の教育研究活動等の状況について、重点評価項目として内部質保証が重視される傾向から、今回のテーマを「質保証に向けた大学改革の推進」と設定し、全体会で基調講演と特別講演をご提供するとともに、分科会で事例講演、ハンズオン、テーマ別座談会など、様々な企画を実施させていただきました。

全国ユーザ研修会は、毎年ユーザの皆様から高い評価をいただき、継続的な開催が実現しています。「GAKUEN」シリーズのユーザに対し、徹底的なスキルアップに努めるとともに、新規ユーザとなっただく大学に向けてのコンテンツや分科会なども実施することで、導入決定ツールとしての機能も付与しています。さらに、この研修会を通じてユーザ同士の横の交流が生まれ、情報共有による「ユーザ価値の向上」が図られています。

大学経営の多様化、高度化が求められる中、今後も「GAKUEN」シリーズは、戦略的な大学経営システムをトータルにサポートし、大学経営の質の向上に貢献してまいります。

News & Topics

ワークスタイル変革EXPOに出展

平成28年10月5～7日、インテックス大阪で開催された展示会「ワークスタイル変革EXPO」に出展しました。ワーク・ライフ・バランスの重要性が叫ばれ、効率的な業務の推進による働き方の変革に取り組む企業が拡大する中で、同展示会は大きな注目を集めています。当社は、実際に商談のテーブルを設けたブースで、効率的な商談支援システム「Showmal」や、PCウェブサイトを短期間でスマホ対応させる「GeneCode（ジーンコード）」などを紹介、大きな注目を集めました。



商談席



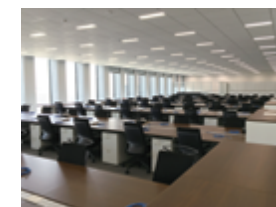
大阪本社の増床を実施

平成28年5月、大阪本社が入居する中之島フェスティバルタワー内28階一部エリアへの増床を行いました。

開放的なレイアウトや新たなミーティングスペースの設置により、社員同士のコミュニケーションが一層活発になるようなオフィス環境が実現しています。



増床新事務所開所式の様子



開放的なオフィス環境

28階フロアにはGAKUEN事業部が入るとともに、29階フロアのレイアウトを改良し、大阪地区の体制強化を推進することによってさらなる成長を目指してまいります。

会社概要

会社概要 (平成28年9月30日現在)

社名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd. (略称JAST)
設立	昭和48年3月26日
資本金	10億7,666万9,578円
従業員数	683名

役員体制 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	平林 武昭	執行役員	中尾 昭宏
取締役執行役員	大門 紀章	執行役員	山田 賢二
取締役執行役員	伴 浩明	執行役員	六車 千春
取締役執行役員	佐々木 優	常勤監査役	園田 勝朗
取締役執行役員	土屋 祐二	監査役 (社外監査役)	妙中 茂樹
取締役 (社外取締役)	中村 俊一	監査役 (社外監査役)	最上 次郎
取締役 (社外取締役)	山科 裕		

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

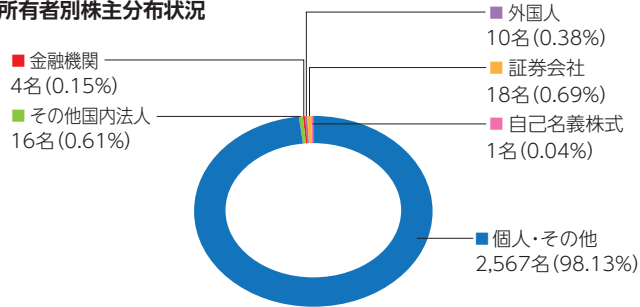
発行可能株式総数 16,000,000株

発行済株式総数 5,612,230株

(自己株式364,210株を含む)

株主数 2,616名

所有者別株主分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社ジャスト	1,450,100	27.63
日本システム技術従業員持株会	699,040	13.32
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	145,200	2.77
平林 卓	139,320	2.65
平林 武昭	89,700	1.71
水元 公仁	70,600	1.35
丸山 真道	60,610	1.15
堀 正憲	56,700	1.08
山本 修	54,150	1.03
平林 大	54,000	1.03

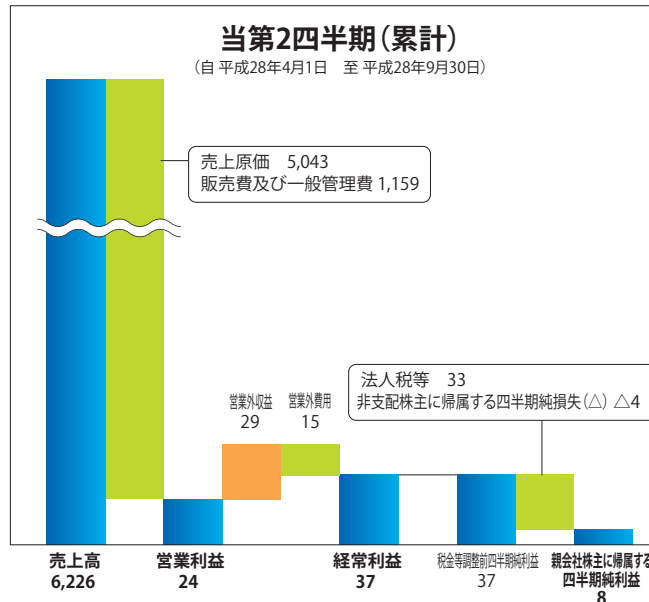
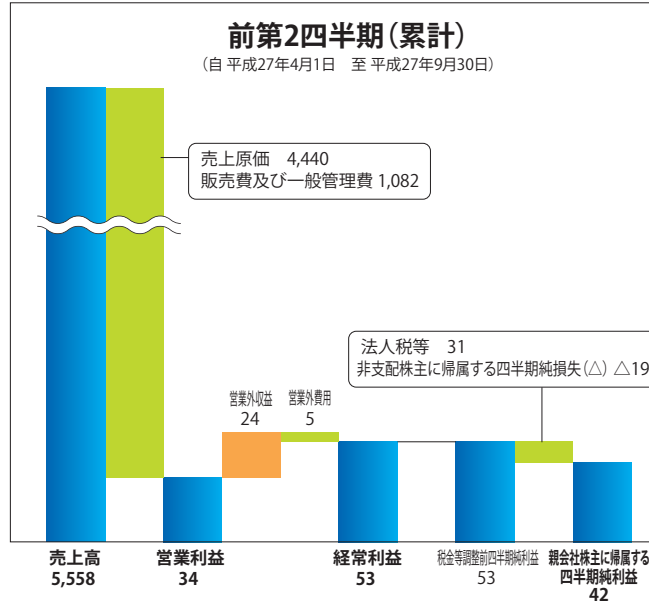
(注1) 上記のほか、自己株式が364,210株あります。

(注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

財務データ

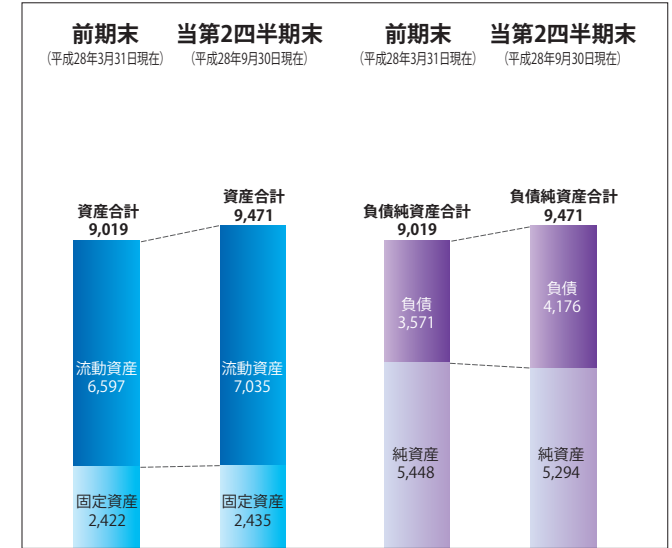
四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

